

ちとやま

早いもので今年ももう一ヶ月が経ちました。非常に乾燥して寒い日が続き、世間ではインフルエンザがA型、B型同時に流行しているようですが皆様は大丈夫でしょうか。南山の郷では一部の職員に罹患者が出てしまいましたが早期の対応で現在の所、施設内での流行はしていません。このまま警戒、対策を続けていきます。

二月になり、南山の郷では節分の豆まきを行いました。職員扮する鬼が各グループに現れ、各フロアでご利用者様方に撃退されていました。皆様一年の健康を祈りながら豆まきをされ、これも一つの風邪対策となったでしょうか。この元気で冬を乗り越えたいと思います。



みなさまの声を受けて

12月号で、利用者への関わり方でプライバシーを見直していきたいというお話をさせて頂きました。

改修後のお部屋は、皆様ご覧頂けたでしょうか。普段来られるご家族や面会の方からは、「病院やいかにも施設という雰囲気ではなく、家庭的な雰囲気になりましたね」という声をいただいています。利用者の中には、この機会にお部屋の模様替えをされた方もありました。確かに模様替えという発想は自宅の感覚に近いですね。

一方、「不安だから扉を開けたままにしてほしい」という利用者の方、ご家族の意見もありました。利用する側も施設や病院に慣れてしまっていたんだと思います。例外もありますが、訪室やナースコールなどで安心して過ごせるよう話し合っていきたいと思います。

プライバシーが守られるという事は個としての人格の尊重にも繋がります。私自身もそうですが、複数の職員から、「入室時に『失礼します』が自然に出て来るようになった」と声が上がりました。これからも環境に合わせた対応を皆で話し合っていきたいと思います。

先月の行事

お正月の行事も一通り行い落ち着いた頃、初釜が開かれました。

皆様、改めて新年の挨拶をされながら古川施設長や大丸相談員の点てるお抹茶やお茶菓子を楽しまれました。

